

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	85時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 清水 治村 中西 吉川	実務経験	有				
学修内容 到達目標	国家試験課題 オールウェーブセッティングの技術の習得 美容師国家試験合格および後期実技試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進捗を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づく授業内容	美容師としてお客様を綺麗にする技術力はもちろん、接客をする上でのマナーや言葉遣いなどの接客力にも力を入れています。そして国家試験課題、オールウェーブセッティングには、美容に必要なコームの持ち方や力の入れ方、頭の大きさ丸みを理解しピンカールなど正確に作る技術が求められます。美容師経験から就職してからもどの技術にも通じる基本的な要素がたくさん含まれていると考えます。授業ではただ単に技術を教えるのではなく、この技術が何に必要でどう応用されるのかを詳しく伝え、学生でも理解しやすい授業を心がけています。						
使用教材	教科書 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、セッティング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	ストレートパーマ	根元のストレートパーマ	
第2回			
第3回			
第4回	パーマ	毛先のパーマ	
第5回			
第6回			
第7回	フィンガーウェーブ	ローションの馴染ませ方	
第8回		ウェーブ、リッジの作り方	
第9回			
第10回	フィンガーウェーブ	ウェーブ、リッジの作り方	
第11回			
第12回			
第13回	スカルプチュアカール	スカルプチュアカールの作り方	
第14回			
第15回			
第16回	1段目	ブロッキング、噴水の仕方、スライスの取り方、スカルプチュアカール	
第17回			
第18回			
第19回	2段目	ウェーブバランス	
第20回			
第21回			
第22回	3段目	ウェーブバランス ピンカールの配置 3段目のバランス スカルプチュアカール	
第23回			
第24回			
第25回	1~3段目の復習	全体のバランスの確認 ウェーブの確認 タイムアップ	
第26回			
第27回			
第28回	4~7段目	ブロッキング、ウェーブのバランス	
第29回			
第30回			
第31回	クロッキノールカール	クロッキノールカールの作り方、バランス	
第32回			
第33回			
第34回	リフトカール	リフトカールの作り方	
第35回			
第36回			
第37回			
第38回			
第39回			
第40回			
第41回			
第42回			
第43回			

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	85時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 清水 治村 中西 吉川	実務経験	有				
学修内容	国家試験課題 オールウェーブセッティングの技術の習得						
到達目標	美容師国家試験合格および後期実技試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心に行う。必要事項を板書し、反復して練習を行い実技習得を目指す。学生の完成度を確認しながら進捗を決めていく。						
成績評価の方法と基準	後期1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	定期試験前にチェックテストや放課後の強化レッスンを行い、技術の完成度を高める						
実務経験に基づく授業内容	美容師としてお客様を綺麗にする技術力はもちろん、接客をする上でのマナーや言葉遣いなどの接客力にも力を入れています。そして国家試験課題、オールウェーブセッティングには、美容に必要なコームの持ち方や力の入れ方、頭の大きさ丸みを理解しピンカールなど正確に作る技術が求められます。美容師経験から就職してからもどの技術にも通じる基本的な要素がたくさん含まれていると考えます。授業ではただ単に技術を教えるのではなく、この技術が何に必要でどう応用されるのかを詳しく伝え、学生でも理解しやすい授業を心がけています。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）、セッティング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第44回	リフトカール	リフトカールの作り方	
第45回			
第46回			
第47回	メイポールカール	メイポールカールの作り方	
第48回			
第49回			
第50回	ピンカール強化	全部のピンカール強化	
第51回			
第52回			
第53回	ウェーブ、ピンカールのバランス強化	ウェーブとピンカール両方のバランス強化	
第54回			
第55回			
第56回			
第57回			
第58回			
第59回			
第60回			
第61回			
第62回			
第63回			
第64回			
第65回			
第66回			
第67回			
第68回			
第69回	タイムアップ	タイムアップ全頭40分	
第70回			
第71回			
第72回			
第73回			
第74回			
第75回			
第76回			
第77回	タイムアップ	タイムアップ全頭35分	
第78回			
第79回			
第80回			
第81回			
第82回			
第83回			
第84回			
第85回			

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウエーブセッティング技術の習得。オールウエーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	オールウエーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。オールウエーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に当たっての留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	1, 3, 7段 ピンカール	1年時の復讐	
第2回		〃	
第3回		〃	
第4回		〃	
第5回		〃	
第6回		〃	
第7回		〃	
第8回		〃	
第9回		オールウエーブのバランス（ブロッキング）	
第10回		〃	
第11回		〃	
第12回		〃	
第13回		〃	
第14回		〃	
第15回		〃	
第16回		〃	
第17回		クロッキノールカールの復讐	
第18回		〃	
第19回		〃	
第20回		〃	
第21回		〃	
第22回		〃	
第23回		〃	
第24回		〃	
第25回	右リフトカール	デモンストレーション・実習	
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回		〃	
第31回		〃	
第32回		〃	
第33回		〃	
第34回		〃	

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の習得。オールウェーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	オールウェーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。オールウェーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に当たっての留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第35回	右リフトカール	〃	
第36回		〃	
第37回	左リフトカール	デモンストレーション・実習	
第38回		〃	
第39回		〃	
第40回		〃	
第41回		〃	
第42回		〃	
第43回		デモンストレーション・実習	
第44回		〃	
第45回	左リフトカール	〃	
第46回		〃	
第47回		〃	
第48回		〃	
第49回		デモンストレーション・実習	
第50回		〃	
第51回		〃	
第52回		〃	
第53回	左リフトカール	〃	
第54回		〃	
第55回		〃	
第56回		〃	
第57回		〃	
第58回		デモンストレーション・実習	
第59回		〃	
第60回		〃	
第61回	メイポールカール	〃	
第62回		〃	
第63回		〃	
第64回		〃	
第65回		〃	
第66回		〃	
第67回		〃	
第68回		〃	

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウェーブセッティング技術の習得。オールウェーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進捗を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	オールウェーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。オールウェーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に当たっての留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第69回	ピンカール（全部）	タイム計測	
第70回		〃	
第71回		〃	
第72回		〃	
第73回		〃	
第74回		〃	
第75回		〃	
第76回		〃	
第77回		〃	
第78回		〃	
第79回	オールウェーブ ブロッキングまで	タイム計測	
第80回		〃	
第81回		〃	
第82回		〃	
第83回		〃	
第84回		〃	
第85回		〃	
第86回		〃	
第87回		〃	
第88回		〃	
第89回	オールウェーブ ブロッキングまで	タイム計測	
第90回		〃	
第91回		〃	
第92回		〃	
第93回		〃	
第94回		タイム計測（30分）	
第95回		〃	
第96回		〃	
第97回		〃	
第98回		〃	
第99回	国家試験課題 ノーパート7段構成	〃	
第100回	〃	〃	
第101回	〃	〃	
第102回	〃	〃	

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 セッティング	区分	必修	授業時数	130時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有				全コース
学修内容	国家試験課題のオールウエーブセッティング技術の習得。オールウエーブセッティングは、美容の基礎のすべてが学べる為必要な技術である。ピン打ち、シェーピング、コームの持ち方から基本となる技術が習得できるので基本を確認。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達。						
授業の方法	授業は実習を中心として行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	オールウエーブは、美容の基礎がすべて習得できる技術である。ピンカールを使った技術でパーマを当てたり、セットしたりとサロンで実際に使う技術であるため、サロンワークの経験を通して話を交えながら実習を行う。オールウエーブの歴史、文化にも触れる事で学生の興味も引きながら授業に取り入れていく。						
使用教材	実習道具一式・ローション等						
履修に当たっての留意点	ローションを扱うため、ウィッグの脱毛、悪臭などが起こり得るため、取扱いに注意する。						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第103回	国家試験課題 ノーパート7段構成	"	
第104回		"	
第105回		"	
第106回		"	
第107回	国家試験課題 ノーパート7段構成	タイム計測 (25分)	
第108回		国家試験課題タイム合格レベルに	
第109回		"	
第110回		"	
第111回		"	
第112回		"	
第113回		"	
第114回		"	
第115回		"	
第116回		"	
第117回		"	
第118回		"	
第119回		"	
第120回		"	
第121回		"	
第122回		"	
第123回		"	
第124回		"	
第125回	"		
第126回	"		
第127回	"		
第128回	"		
第129回	"		
第130回	"		